主な議案　3月定例会

今回は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についてなどです。（議案の一覧は、前ページを参照ください）

質疑については、主なものを中心に、要約して掲載します。

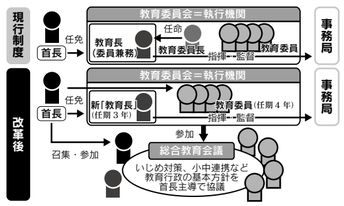
条例議案

■地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

教育委員会委員長と教育長を一本化

新教育委員会制度が開始

教育委員会委員長と教育長を一本化した新たな教育長の設置等、教育委員会の組織・運営の見直しに伴い、関係条例を改正します。



新たな教育委員会制度の概要

首長の教育委員会への関与を強め、教育委員会の独立性を損なう恐れのある、新たな教育委員会制度の実施に基づく改正には反対であるとの意見がありましたが、起立採決の結果、原案のとおり可決されました。

■刈谷市公共駐車場条例の一部改正について

刈谷駅北口の迷惑駐車を解消

相生駐車場の夜間使用料がこれまでの半額に

刈谷駅北口の産業振興センターに併設されている相生駐車場の夜間の使用料を次のとおり改正します。

相生駐車場の夜間の使用料金

区分	改正前	改正後
午前6時～午後6時	30分ごとに100円	30分ごとに100円
午後6時～翌日午前6時		1時間ごとに100円

■監査委員の選任について

前任者が平成27年3月31日で任期満了となるので、後任として次の方を選任することに同意しました。

太田　力（おおた　ちから）氏

（トヨタ車体株式会社常勤監査役）

〔問〕駐車場の利用者に駅周辺店舗の従業員が多いことから、夜間のみ安い定期券を発行するような提案をしたがなぜ定期にしなかったのか。

〔答〕夜間定期券を発行する場合、一般利用者や産業振興センター利用者、民間の月極め駐車場への影響などを考慮した上で、夜間定期券の利用時間帯や金額、発行枚数などの検証を行う必要がある。

4月からの夜間使用料の割引による利用状況の変化も含めて、調査研究を継続していきたい。

■その他、刈谷市特別職報酬等審議会の答申や人事院勧告等を鑑みて、議員・特別職等（市長・副市長・教育長）の報酬及び給与等を引き上げる条例改正について、消費税増税による不況と所得格差が広がっている中、行政運営にかかわる議員として、報酬の引き上げには反対であるとの意見や、7月の選挙まで議員報酬の引き上げを見送るといった修正案が出されましたが、採決の結果、原案のとおり可決されました。

単行議案

■功労者の推薦について

功労者として次の方を推薦することに同意しました。

ヘーゼル・マッキャリオン氏（94歳）

カナダ国ミササガ市と1981年の本市とミササガ市との姉妹都市提携調印以降、30年以上の長きにわたり、ミササガ市長として両市の交流のため多大な貢献をされました。

補正予算議案

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、企画総務、福祉経済、建設水道、文教の各分科会で審査されました。

3月23日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について、各分科会委員長より報告を受けました。

また、国の補正予算で措置される地域活性化、地域住民生活等緊急支援交付金の交付に伴う補正予算案が本会議に上程され討論が行われました。討論では国の地方創生そのものに問題があるため反対などの意見がありましたが、採決の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

補正する額（一般会計）

20億9，798万円

補正後の予算（一般会計）

561億7，314万円

補正後の予算総額（全会計）

855億236万円

※市民の方等から貴重なご寄附をいただきました。補正予算に計上し活用させていただきます。

・児童館事業費として　5，000万円

・公園事業費として　18万6千円

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金

平成26年12月に閣議決定された「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に基づき、国の26年度予算より交付されます。

交付金を活用して実施される主な事業は次のとおりです。

（商工）

刈谷商工会議所・刈谷市商店街連盟が発行するプレミアム商品券にかかる経費等を補助　1億2，200万円

委員会の動き

各委員会では議案審査のほか、所管事務調査として次のことが話し合われました。

企画総務委員会

市勢要覧概要版
～マイ刈谷　住むなら刈谷、私のベストプレイス～

〔問〕定住促進活動の一環として、作成が進められている市勢要覧概要版の内容は。

〔答〕本市の魅力を紹介し、刈谷市に住んでみたいと思っていただけるような内容になっている。また、これから住まいを探す20代30代の子育て世代を意識して作成をしている。

その他「青山斎園の墓地の増設」「刈谷市総合教育会議」「市内業者を参加資格要件とした入札」などが話し合われました。

福祉経済委員会

子宮頸がん予防ワクチン接種後の副反応に対する支援

〔問〕ワクチン接種後に長時間持続する痛みや脱力等の症状が出るなど副反応の問題が報告されている。今後、この問題に対し、本市も支援を講ずべきと考えるがどうか。

〔答〕本市にも副反応を訴えている方がみえる。医療費等を支援する場合の認定方法や助成範囲など、さまざまな課題はあるが、苦しんでみえる方の負担を軽減するための方策を検討していきたい。

その他「第3次刈谷市地域福祉計画」「第4期刈谷市障害福祉計画」「刈谷市新型インフルエンザ等対策行動計画」「第6期介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画」「刈谷市子ども・子育て支援事業計画」「第2次刈谷市環境基本計画」などが話し合われました。

建設水道委員会

県営防災ダム事業岩ケ池地区

〔問〕ため池の堤防が地震などによって決壊すると、地域住民に甚大な被害をもたらす。被害の未然防止などを目的とした防災ダム事業について、完成までのスケジュールは。

〔答〕地区要望である水質浄化対策、周辺の環境対策等を地元の方々と話し合い、合意が得られれば、平成29年度の工事着手を目指して、県と調整していく。

その他「天王町地区計画（案）」などが話し合われました。

文教委員会

（仮称）刈谷市立特別支援学校・第一学校給食センター基本計画・基本設計

〔問〕支援学校と小垣江東小学校の子どもがともに学び、交流し、理解し合える活動とはどのようなものか。

〔答〕授業を一緒に受けることや運動会・音楽会など各種の行事を合同で企画し、交流することなどを考えている。

その他「刈谷市いじめ防止基本方針」「第3次刈谷市生涯学習推進計画」などが話し合われました。

質問・質疑　市政のここを問う

この定例会では3月3日・4日・6日の3日間に、18人が登壇し46項目にわたり、市政についてただす質問・質疑が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

一般質問項目（発言順） ※印が掲載した項目です。

上田　昌哉　議員
※1 刈谷市の現状と今後について
2 命の大切さについて
3 訪問看護について

鈴木　絹男　議員
※1 施政方針及び議案の大綱及び教育行政方針について
2 平成27年度当初予算について

中嶋　祥元　議員
※1 平成27年度重点要望について
2 駅周辺の分煙対策について
3 地域コミュニティーの充実について

岡本　優　議員
※1 刈谷ハイウェイオアシスを日本を代表する名所（集客施設）へ
2 規模企業者への支援について

清水　行男　議員
※1 市街調整区域の下水道の整備促進について
2 南部地域の街区化予定地等の土地利用について

山本　シモヂ　議員
※1 洲原温水プール事故の被害者補償について
2 市民を救済する市営住宅の充足について
3 子ども・子育て支援新制度移行について
4 市長の政治姿勢と予算案について
5 教育行政について

新海　眞規　議員
平成26年度施政方針について
平成27年度教育行政方針について

蜂須賀　信明　議員
※1 刈谷市の多文化共生社会の現状について
2 美浜化共生社会での学校教育について
3 平成27年度当初予算、主要施策について
4 女性の活躍推進について

白土　美枝子　議員
※1 刈谷市政の課題について
2 刈谷市政の課題について
3 教育行政方針について

星野　雅春　議員
※1 災害時医療救護所の設置急務などについて
2 市内巡回バス（公共施設連絡バス）停250mおきの設置について
3 働き方は正社員が当たり前について

新村　健治　議員
※1 生活密着事業のその後などについて
2 刈谷城築城の史実とまちおこしについて
3 医療と介護の充実と負担軽減について

野村　武文　議員
※1 他町へ連携しての技能五輪・アビリンピックあいち大会について
2 農業の将来像について

渡辺　浩二　議員
※1 平成27年度重点要望について
2 インフルエンザ感染拡大防止について

鈴木　昌宏　議員
※1 市営住宅の入居について
2 特別養護老人ホームへの入所について
3 保育園への入園について

神谷　寿　議員
※1 防犯対策について
2 視覚障害者への支援について
3 教育施設の耐震化について

松永　明　議員
※1 平成27年度重点要望について

黒川　智哉　議員
※1 平成27年度施政方針について
2 平成27年度教育行政方針について
3 刈谷市の道路行政について

山内　明　議員
※1 平成27年度施政方針について
2 平成27年度教育行政方針について

質問・質疑のすべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。
「刈谷市議会」で検索し、**「議会映像をみる」**をクリックしてください。

上田　昌哉　議員

公共施設の整備にあたり住民参加型公募債の発行を
―資金調達の手法の一つとして検討する―

（主な答弁者…企画財政部長）

問 今後の税収減が予想される中、個人市民税の税収を上げる政策はあるか。

答 より住みやすい環境と安定した雇用が市税の確保につながると考えており、平成27年度に策定する刈谷市版「まち・ひと・しごと総合戦略」に基づいた施策を展開していく。

問 公共施設の維持管理は適切に行われているか。

答 公共施設維持保全計画に沿って順次推進しており、大規模改修や建替えに基金を活用することで、福祉や教育など他の事業に影響がないよう財政負担の平準化を図っている。

問 今後必要となる公共施設の建設や社会インフラ整備の費用調達として、住民参加型公募債を発行する考えはないか。

答 発行や償還に係る手数料等の経費が必要になることや募集に適した利率、償還期間の設定が難しいなど課題はあるが、事業に対する市民の関心を高めるメリットもあり、資金調達の手法の一つとして検討していく。

鈴木　絹男　議員

地方創生に向け、まちの元気を維持する取り組みを
―刈谷市版・総合戦略を策定し、地域創生の方策を盛り込む―

（主な答弁者…市長）

問 地方創生における国の動きに対し、今後、刈谷市はどのようなことを行っていくのか。

答 全国的な人口の減少を見据えながらも、本市においては人口が増加している現状も踏まえ、独自色を出しつつ、住環境・子育て環境の整備など、人を引きつけ魅力あふれる地域を創生するためのあらゆる分野における方策を策定する予定である。

問 地方教育行政制度改革の具体的な取り組みは。

答 教育委員長と教育長を一体化した新教育長の創設や全ての地方公共団体に総合教育会議を設置する等である。

問 市長の視点から総合教育会議に期待するものはなにか。

答 私どもと教育委員会が、これまで以上に教育行政の方向性を共有、協力しながら子どもたちのためにさまざまな施策を推進していくことができることに期待するとともに、大きな役割を担うものと感じており、この会議が有意義な場となるように努めていきたい。

中島　祥元　議員

刈谷駅周辺の分煙対策とポイ捨て防止を
―喫煙場所を設置する方向で協議検討中―

（主な答弁者…建設部長）

住みやすい、住み続けたい、住んでみたいまち　かりやへ

問 刈谷駅周辺のたばこの吸殻のポイ捨ての現状をどのように把握しているのか。また、駅前美化は誰が行っているのか。

答 たばこのポイ捨て状況を調査したところ、1日で300本程度捨てられていた。また、駅前広場の清掃はシルバー人材センターに委託して毎日行っている。さらに「クリーンサポート刈谷」というボランティア団体により定期的に清掃活動を行っていただいている。

問 分煙対策として喫煙場所を設置する考えはあるか。

答 現在、喫煙場所を設置する方向で、関係機関及び関係部署と協議検討中である。

岡本　優　議員

刈谷ハイウェイオアシスを日本を代表する名所に
―スマートICの設置検討と周辺道路整備等を進める―

（主な答弁者…都市整備部長）

問 刈谷ハイウェイオアシスの来場者数は年々増加しているが第3期整備区域の駐車場整備等はどうなっているか。

答 整備区域に植樹帯を配置し520台分の駐車場を整備するとともに、園路の整備や歩道橋の設置を行っていく。

問 平成25年度のオアシス館刈谷の利用者は60万1，100人であった。この集客力に着目した「自動車産業のまち刈谷」PRイベントとして、ラリー車展示等を実施してはどうか。

清水　行男　議員

市街化調整区域の計画的な下水道整備促進を
―国庫補助を活用し早期の整備完了に努める―

（主な答弁者…上下水道部長）

問 市街化調整区域を下水道整備の計画区域に加えた平成22年度以降の整備費が減っているのはどういう理由か。

答 調整区域では迂回路確保の困難さや道路幅員の狭さなど施工規模が限定されるためである。

問 事実上、事業費の20％程度しか見込めない国庫補助に頼ることなく、市単独での事業促進が図れないものか。

答 下水道整備は国策でもあり、後年に返済を要しない財源として今後も国庫補助金を活用し、事業を実施していく。

問 地域の環境保全にも大きく寄与する下水道水洗化は、多くの市民が待ち望んでいる。国庫補助に縛られることなく計画どおり進めるべきと考えるが、どのような方針で整備するのか。

答 老朽化の進む中心市街地の下水道管の点検、改修や大地震に備えた施設の耐震化も必要だが、市街化調整区域の整備は喫緊の課題と認識しており、財政状況も考慮しながら、可能な限り早期に整備完了を図る。

問 確実に受動喫煙を防止するため、喫煙禁止区域を指定する条例を制定するべきと考えるがどうか。

答 ごみ散乱の防止に関する条例を制定し、たばこのポイ捨て防止についても啓発を行っている。喫煙場所の設置による状況を見た上で、条例化について検討していく。

（主な答弁者…都市整備部長）

答 展示スペースの確保などの課題もあるが、関係者との調整を含め調査研究していきたい。

問 スマートICの設置を含め、県道名古屋岡崎線の早期整備への取り組みは。

答 関係5市と連携し、国及び県に県道名古屋岡崎線の早期整備を要望している。今後は、スマートICの設置検討と設置に伴う周辺道路への影響及び期待される効果等を勘案しつつ、名古屋岡崎線の建設推進につなげたい。